

歴史

北方領土問題

大山正順 世田谷区立桜木中学校教諭

① 新聞活用のねらい

日本には未解決の領土問題が3地域存在している。領土問題は、公民的分野で取り扱う内容ではあるが、それぞれの問題には歴史的要因が必然的に存在する。現代史の中で取り扱う場合、歴史的な経過を学ばせると同時に、現在の動き（状況）もつかませたい。特に、日本と近隣諸国との関係を学習するにあたって、戦後処理の上でも欠かせない課題の1つであり、近い将来、何らかの動きが見られる可能性もある。普段から新聞に目を通す中で、現在の両国の状況（政治的な動向や住民の変化）をつかめるようにしたい。

② 授業展開

1 ねらい

関心意欲▶新聞記事を活用することで、近くで遠い国ロシアについて、関心を持たせるとともに、北方領土問題に対する関心を高めさせる。

思考判断▶新聞記事から、両国政府の考え方の相違や現地の人々の考えや現状を把握させる。

知識理解▶北方領土問題が生まれた歴史を学びながら、未解決のまま戦後半世紀過ぎてしまった現在までの状況を理解させる。

2 主な学習活動

- ①新聞記事を読み取り、内容をつかむ（要点をまとめる）。
- ②地図の中で、北方領土の位置を確かめる。
- ③日本政府とロシア政府の考え方や地元の住民（北海道、北方領土の島民）の考え方を整理する。
- ④日本とロシアとの平和条約が、なぜまだ結ばれていないのか（領土問題がなぜ解決できないでいるのか）を考え、現在、どのように進展していくとしているのかを新聞記事から読み取る。

展開例 (設問例)『北方四島北側に国境線』

学習内容と設問例

資料▶1 2 3 4 5

- ・『北方領土』を確かめる。

「北方領土とは、どこのことですか。いつ、どのように北方領土問題は起こりましたか」（資料2などで確かめる）

- ・ロシア大統領の提案と日本の首相の提案の趣旨をつかむ。

「ロシアの大統領は、どういう提案をしましたか」（条約の名称を『平和友好協力条約』にするという提案）

「それに対して、日本の首相はどうしましたか」（理解を示し、さらに条約に国境線を引くことを盛り込むように提案した）

「日本の首相の提案の理由はどういうことですか」（ロシア国内の反対が強まることを避けて、北方領土に対する日本の主権を確認しようとしている）

「日本の首相の提案に対して、ロシアの大統領はどのように応じましたか」（提案に沿った解決は可能であるという考え方を示した）

- ・領土問題に関する日ソ、日ロの首脳会談の歴史的な流れをつかむ。

「『東京宣言』とは、どういう内容ですか」

「今までの主な日ソ、日ロの首脳会談の様子を整理しよう」（記事や資料を読み取る）

- ・今後の様子を簡単に把握する。

3 評価の観点

関心意欲▶北方領土問題について、関心を高めることができたか。

思考判断▶北方領土の位置をつかみ、両国の政府や人々の考え方をまとめられたか。

知識理解▶北方領土問題に関する現在の状況を理解できたか。

資料 1 読売新聞
1998.4.20付朝刊

「北方四島北側に国境線」



▲ 19日、首脳会談終了後の船釣りで、アリソン・サキを釣り上げ笑顔を見せるエリツィン・ロシア大統領(右)と橋本首相(左) AP

第2回日ロ首脳会談のポイント

- 一、平和条約による北方領土の帰属問題解決と、二十世紀に向けた友好協力の原則等を盛り込むこと
- 二、平和条約締結問題合同委員会の早期開催を確認
- 三、対口投資会社を設立。外務、大蔵、通産各省によらず子一人を派遣
- 四、モスクワにて日本の自動車工場建設
- 五、北方領土交換なしの交流への学術、文化などの専門家参加決定を歓迎。四島住民へのディーゼル発電機供与の検討

資料 2 読売新聞
1998.4.21付朝刊

ミニ時事

北海道からカムチャツカ半島に連なる諸島のうち、歯舞群島、色丹島、國後島、択捉島を指す。日本固有の領土で、面積はほぼ千葉県に匹敵する5036平方キロメートル。1945年に日本が連合国に降伏を表明した直後に、旧ソ連軍が占領した。人口は89年ごろがピークで、約2万4千人いたとされるが、現在は約1万7千人にはなっていない。

北方四島

減った。エリツィン・ロシア大統領はここでの共同経済活動を提案している。

日本政府は四島に日本の主権が存在し、旧ソ連・ロシアが不法占拠しているとして四島一括返還を主張してきた。18、19日に静岡県伊東市川奈で行われた日ロ首脳会談では四島の帰属を平和条約に明記することが確認され、橋本首相は北方四島の北に両国の国境線を画定することを提案した。(雅)

検索は <http://www.yomiuri.co.jp/mini>

平和友好協力条約 検討表明 首相、盛り込み提案

ロシア大統領

返還明記せず

首脳会談



天皇訪日を大統領招請

ロシアのエリツィン大統領は十九日の橋本首相とのロシア訪問を正式に招請した旨を天皇陛下に伝えることを約束した。

秋の首相の訪日、来年の大統領の来日の公式訪問のほか、五月の主要閣僚会議(英語:ミニサミット)、セミナー、十日のアジア太平洋経済協力会議(アセアン)でも、そのうえ、「直ちに返還を認められないが複数の日ロ関係筋は十九

とを確認した。

秋の首相の訪日、来

年の大統領の来日の公式訪

問のほか、五月の主要閣僚

会議(英語:ミニサミット)

に向けた事務レベルの認識で一

致。作業を開始するとい

うだ。大統領は「興味

ある提案があった」と、平

和条約の領域問題の取り

扱いについて、そのうえ、「直

ちに返還を認められないが

複数の日ロ関係筋は十九

とを確認した。

秋の首相の訪日、来

年の大統領の来日の公式訪

問のほか、五月の主要閣僚

会議(英語:ミニサミット)

に向けた事務レベルの認識で一

致。作業を開始するとい

うだ。大統領は「興味

ある提案があった」と、平

和条約の領域問題の取り

扱いについて、そのうえ、「直

ちに返還を認められないが

複数の日ロ関係筋は十九

とを確認した。

秋の首相の訪日、来

年の大統領の来日の公式訪

問のほか、五月の主要閣僚

会議(英語:ミニサミット)

に向けた事務レベルの認識で一

致。作業を開始するとい

うだ。大統領は「興味

ある提案があった」と、平

和条約の領域問題の取り

扱いについて、そのうえ、「直

ちに返還を認められないが

複数の日ロ関係筋は十九

とを確認した。

秋の首相の訪日、来

年の大統領の来日の公式訪

問のほか、五月の主要閣僚

会議(英語:ミニサミット)

に向けた事務レベルの認識で一

致。作業を開始するとい

うだ。大統領は「興味

ある提案があった」と、平

和条約の領域問題の取り

扱いについて、そのうえ、「直

ちに返還を認められないが

複数の日ロ関係筋は十九

とを確認した。

秋の首相の訪日、来

年の大統領の来日の公式訪

問のほか、五月の主要閣僚

会議(英語:ミニサミット)

に向けた事務レベルの認識で一

致。作業を開始するとい

うだ。大統領は「興味

ある提案があった」と、平

和条約の領域問題の取り

扱いについて、そのうえ、「直

ちに返還を認められないが

複数の日ロ関係筋は十九

とを確認した。

秋の首相の訪日、来

年の大統領の来日の公式訪

問のほか、五月の主要閣僚

会議(英語:ミニサミット)

に向けた事務レベルの認識で一

致。作業を開始するとい

うだ。大統領は「興味

ある提案があった」と、平

和条約の領域問題の取り

扱いについて、そのうえ、「直

ちに返還を認められないが

複数の日ロ関係筋は十九

とを確認した。

秋の首相の訪日、来

年の大統領の来日の公式訪

問のほか、五月の主要閣僚

会議(英語:ミニサミット)

に向けた事務レベルの認識で一

致。作業を開始するとい

うだ。大統領は「興味

ある提案があった」と、平

和条約の領域問題の取り

扱いについて、そのうえ、「直

ちに返還を認められないが

複数の日ロ関係筋は十九

とを確認した。

秋の首相の訪日、来

年の大統領の来日の公式訪

問のほか、五月の主要閣僚

会議(英語:ミニサミット)

に向けた事務レベルの認識で一

致。作業を開始するとい

うだ。大統領は「興味

ある提案があった」と、平

和条約の領域問題の取り

扱いについて、そのうえ、「直

ちに返還を認められないが

複数の日ロ関係筋は十九

とを確認した。

秋の首相の訪日、来

年の大統領の来日の公式訪

問のほか、五月の主要閣僚

会議(英語:ミニサミット)

に向けた事務レベルの認識で一

致。作業を開始するとい

うだ。大統領は「興味

ある提案があった」と、平

和条約の領域問題の取り

扱いについて、そのうえ、「直

ちに返還を認められないが

複数の日ロ関係筋は十九

とを確認した。

秋の首相の訪日、来

年の大統領の来日の公式訪

問のほか、五月の主要閣僚

会議(英語:ミニサミット)

に向けた事務レベルの認識で一

致。作業を開始するとい

うだ。大統領は「興味

ある提案があった」と、平

和条約の領域問題の取り

扱いについて、そのうえ、「直

ちに返還を認められないが

複数の日ロ関係筋は十九

とを確認した。

秋の首相の訪日、来

年の大統領の来日の公式訪

問のほか、五月の主要閣僚

会議(英語:ミニサミット)

に向けた事務レベルの認識で一

致。作業を開始するとい

うだ。大統領は「興味

ある提案があった」と、平

和条約の領域問題の取り

扱いについて、そのうえ、「直

ちに返還を認められないが

複数の日ロ関係筋は十九

とを確認した。

秋の首相の訪日、来

年の大統領の来日の公式訪

問のほか、五月の主要閣僚

会議(英語:ミニサミット)

に向けた事務レベルの認識で一

致。作業を開始するとい

うだ。大統領は「興味

ある提案があった」と、平

和条約の領域問題の取り

扱いについて、そのうえ、「直

ちに返還を認められないが

複数の日ロ関係筋は十九

とを確認した。

秋の首相の訪日、来

年の大統領の来日の公式訪

問のほか、五月の主要閣僚

会議(英語:ミニサミット)

に向けた事務レベルの認識で一

致。作業を開始するとい

うだ。大統領は「興味

ある提案があった」と、平

和条約の領域問題の取り

扱いについて、そのうえ、「直

ちに返還を認められないが

複数の日ロ関係筋は十九

とを確認した。

秋の首相の訪日、来

年の大統領の来日の公式訪

問のほか、五月の主要閣僚

会議(英語:ミニサミット)

に向けた事務レベルの認識で一

致。作業を開始するとい

うだ。大統領は「興味

ある提案があった」と、平

和条約の領域問題の取り

扱いについて、そのうえ、「直

ちに返還を認められないが

複数の日ロ関係筋は十九

とを確認した。

秋の首相の訪日、来

年の大統領の来日の公式訪

問のほか、五月の主要閣僚

会議(英語:ミニサミット)

に向けた事務レベルの認識で一

致。作業を開始するとい

うだ。大統領は「興味

ある提案があった」と、平

和条約の領域問題の取り

扱いについて、そのうえ、「直

ちに返還を認められないが

複数の日ロ関係筋は十九

とを確認した。

秋の首相の訪日、来

年の大統領の来日の公式訪

問のほか、五月の主要閣僚

会議(英語:ミニサミット)

に向けた事務レベルの認識で一

致。作業を開始するとい

うだ。大統領は「興味

ある提案があった」と、平

和条約の領域問題の取り

扱いについて、そのうえ、「直

ちに返還を認められないが

複数の日ロ関係筋は十九

とを確認した。

秋の首相の訪日、来

年の大統領の来日の公式訪

問のほか、五月の主要閣僚

会議(英語:ミニサミット)

に向けた事務レベルの認識で一

致。作業を開始するとい

うだ。大統領は「興味

4 発展・応用例

中学生でも理解できる部分の内容把握だけで十分だが、資料①の記事には、さらに「ロシア側の思惑（領土問題を先送りして平和条約を締結を優先させるという真意）」が述べられている部分もある。生徒に理解できる範囲で取り上げ、生徒自身はどう思うか考えを深めさせたい。

資料③の記事は、「ロシア公共テレビの日本の現状ルポ」について説明している。ロシア側の新しい動きである。北方領土のロシア住民の様子や考え方、日本の旧島民の考え方も紹介しながら思考・判断させていきたい。

北方領土問題は、前項の「応用例」のように、社会科との分野にも関わる内容である。普段から最新の記事を切り抜いておいて活用したいものである。

5 ニュースを追いかけよう

1つのテーマに絞って、新聞記事をスクラップし、その出来事の移り変わりを追うことも意義がある。事情の変化だけではなく、記事としての取り扱い方の相違や流れなどを読み取って、大局的に把握できる目を養いたい。

北方領土に関する事柄は、常にロシア外交の話題とともに必ず新聞紙面で取り扱われる。社会情勢の変化とも照らし合わせて、今後の動きをつかませたいものである。

1998年4月20日から5か月の間に、日本では橋本政権が退陣し首相が交代した。ロシア国内でも、首相が交代し、経済面でも大混乱した。平和条約締結交渉にも影響したようである。11月の小渕首相訪ロにより、モスクワ宣言が発表されたが、領土問題についてはさほどの進展は見られなかった。

2000年までに平和条約締結を目指すという両政府の今後の
の推移に关心を持たせたい。

【モスクワ17日】中村純、ロシアを訪問中の橋本龍太郎前首相は十六、十七の両日、エリツィン大統領と日ロ平和条約問題などについて意見交換した。エリツィン大統領はこのなかで、今年四月の日ロ首脳会談の際、北方領土問題をめぐらしく問題提起した。橋本氏が大統領に示した「国境線画定」を軸とした平和条約締結に向けた新提案について、十一月の小渕恵三首相の訪ロ時に回答を示す意向を明らかにした。橋本氏が十七日夕(日本時間十七日深夜)、記者団に明らかにした。

モスクワ音楽院で十六日夕、コンサートが開かれる前に、橋本氏が「回答は小渕首相訪ロの際にいただけのものか」と尋ねたのに対し、「そのつもりだ」と答えた。エリツィン大統領は和条約交渉は十一月にやがて終了するところである。ロシアが政治、経済の混乱に見舞われている中で、これまで大統領が日本側に約束していた「首相訪ロ時の回答」を再確認できるかが今回の橋本氏訪ロの大きな焦点だった。大統領の言質を得たことで、亞洲の混亂に見舞われている

領土提案 大統領、橋本前首相に

首相訪日時に回答再び質問